

海外英語演習

責 任 者・コーディネーター		外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 准教授	
担当講座・学科(分野)		外国語学科英語分野	
対象学年	1, 2, 3, 4, 5, 6	区分・時間数 (1 コマ 2 時間換算)	約 2 週間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・ねらい

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の講師による語学コースを受講する。授業では、主として、日常会話に役立つ表現や文法事項などのテーマを扱う。さらに、リスニング練習を通してスピーキング能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師・看護師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。また、英語圏の国の文化や歴史に対する理解を深めるため、名所旧跡を見学する。その他、様々な国の人々と共にアクティビティーに参加したり、医療関連施設を訪問したりすることもある。

本演習では、外国で様々な経験を重ねることで医療者に求められる豊かな人間性を養い、また異文化コミュニケーションを図ることで国籍にかかわらず相手の立場を理解し、さらに、臆することなく自己を表現することで、友好的かつ国際的な人間関係を築くことができるようになる。

・学修目標

本演習は教養教育に求められる豊かな人間性を涵養する一環として実施される。

1. 海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を理解でき、幅広い視点から人および物事を見ることができる。
2. 英語演習を通じて日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のためのコミュニケーション能力を育成できる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

B-2-1 対人援助のためのコミュニケーション

・学修事項

- (1) 異文化を理解し、現地の人と英語で意思疎通を図る。
- (2) 教室では間違いをおそれず積極的に発言する。
- (3) 日本人同士で集まることなく各国の人たちと積極的に交流する。
- (4) 英語圏の文化・歴史・価値観・医療に触れ、医療者に求められる豊かな人間性と柔軟な思考力を身につける。

・この科目を学ぶために関連の強い科目

English Speaking & Listening、English Reading & Writing、科学英語、実践英語

・この科目を学んだ後につなげる科目

薬学実践英語 1、薬学実践英語 2

・ディプロマポリシーとこの科目関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	
2. 地域における人々の健康に関心をもち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	◎

・評価事項とその方法

【総括的評価】 研修レポート: 30%、演習態度*: 70%

【形成的評価】 研修内容に関する質疑応答により、異文化に対する理解度評価を行う。

学修事項	DP	レポート	小テスト	定期試験	発表	演習態度	合計
1、2、 3、4	4	30				70	100
合計		30				70	100

*本科目の演習態度とは、主に、授業、イベントへの参加、各国の人たちとの積極的な交流、英語での積極的な発言、自主的行動、外国での問題解決能力等を指す。

*演習態度の具体的な評価方法については「参加者募集説明会」および「参加者対象説明会」で説明する。

・特記事項・その他

研修先：英語圏の国（例：イギリス・オーストラリア等）

期間：3月(約2週間)の予定

宿泊施設：ホームステイ等

研修内容を把握し渡航に向けて準備するため、参加希望者は「参加者対象説明会」および「最終説明会」（各1時間程度）に出席する必要がある。なお、提出レポート（感想文）は、後日、個別にフィードバックする。

当該科目に関連する実務経験の有無 無